



平成24年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス

コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大倉 俊

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 羽生 光嘉

TEL 078-303-5121

定時株主総会開催予定日 平成24年12月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月13日

有価証券報告書提出予定日 平成24年12月12日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期	47,220	—	5,150	—	5,451	—	2,787	—
23年9月期	24,581	—	1,576	—	1,652	—	614	—

(注) 包括利益 24年9月期 2,847百万円 (—%) 23年9月期 602百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年9月期	73.37	—	5.5	6.4	10.9
23年9月期	14.88	—	—	—	6.4

(参考) 持分法投資損益 24年9月期 一百万円 23年9月期 一百万円

※平成23年3月22日持株会社設立に伴い、前期平成23年9月期(平成23年3月22日～平成23年9月30日)は約6ヶ月間の変則決算となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期	83,701	49,689	59.3	1,325.88
23年9月期	87,427	51,595	59.0	1,248.02

(参考) 自己資本 24年9月期 49,644百万円 23年9月期 51,571百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年9月期	4,228	585	△4,813	36,253
23年9月期	2,826	△199	△2	36,148

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年9月期	—	—	—	36.00	36.00	1,487	241.9	—
24年9月期	—	0.00	—	40.00	40.00	1,497	54.5	3.1
25年9月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		40.5	

(注) 24年9月期期末配当金の内訳 普通配当 36円00銭
記念配当 4円00銭

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,300	0.3	2,600	9.9	2,700	8.2	1,600	50.0	42.73
通期	48,000	1.7	6,000	16.5	6,200	13.7	3,700	32.7	98.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期	37,442,840 株	23年9月期	41,322,860 株
② 期末自己株式数	24年9月期	58 株	23年9月期	20 株
③ 期中平均株式数	24年9月期	37,994,056 株	23年9月期	41,322,848 株

（注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる数式については、24ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。
- 2. 当社は、純粋持株会社であり、その業績はグループ会社間の内部取引によるものとなるため、個別業績及び個別業績予想の開示は省略しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 企業集団の状況	6
3. 経営方針	7
(1) 会社の経営の基本方針	7
(2) 目標とする経営指標	7
(3) 中長期的な会社の経営戦略	7
(4) 会社の対処すべき課題	7
4. 連結財務諸表	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 継続企業の前提に関する注記	16
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	16
(7) 追加情報	17
(8) 連結財務諸表に関する注記事項	17
(連結貸借対照表関係)	17
(連結損益計算書関係)	18
(連結包括利益計算書関係)	19
(連結株主資本等変動計算書関係)	19
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	20
(セグメント情報等)	21
(1株当たり情報)	24
(重要な後発事象)	24
5. その他	24

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

《概況》

	平成24年9月期 (平成23年10月1日～平成24年9月30日)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
化粧品事業	32,223	68.2
医薬・食品事業	13,595	28.8
その他の事業	1,401	3.0
売上高計	47,220	100.0

	平成24年9月期 (平成23年10月1日～平成24年9月30日)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)
営業利益	5,150	10.9
経常利益	5,451	11.5
当期純利益	2,787	5.9

当連結会計年度（平成23年10月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、円高の長期化や欧州債務危機などの影響による海外経済の減速懸念の高まりにより、先行き不透明感が強まっております。

当社グループが主に事業を展開する国内化粧品市場は、高価格帯商品に拡大傾向が見られるものの、依然として、市場における低価格帯商品への需要は高く、競争は厳しさを増しております。

このような環境の中、化粧品事業におけるカウンセリング化粧品では、レッスン型サロン「ノエビアビューティスタジオ」においてお客さまへのサービス活動を積極的に推進しました。セルフ化粧品では、主要ブランドをリニューアル発売いたしました。医薬・食品事業においては、機能性ドリンクの積極的な広告宣伝・販売促進活動を行いました。また、主要ブランドに新商品を発売いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は47,220百万円、営業利益は5,150百万円、経常利益は5,451百万円となりました。当期純利益は、税制改正による繰延税金資産取り崩しの影響で法人税等調整額が増加したことなどにより2,787百万円となりました。

(参考)

	(株)ノエビア(連結) 平成23年9月期 第2四半期 (平成22年9月21日～平成23年3月20日)		(株)ノエビアホールディングス(連結) 平成23年9月期 (平成23年3月22日～平成23年9月30日)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)
売上高	24,493	100.0	24,581	100.0
営業利益	1,296	5.3	1,576	6.4
経常利益	1,438	5.9	1,652	6.7
四半期・当期純利益	533	2.2	614	2.5

(参考情報について)

平成23年3月22日持株会社設立に伴い、前期平成23年9月期(平成23年3月22日～平成23年9月30日)は約6ヶ月間の変則決算となっており比較対象となる期間の開示情報がないため、前年実績及び対前年増減率は記載しておりません。

つきましては、前年実績の比較参考情報として、当連結会計年度(平成23年10月1日～平成24年9月30日)と同期間に相当する株式会社ノエビアの平成23年9月期第2四半期連結累計期間(平成22年9月21日～平成23年3月20日)及び株式会社ノエビアホールディングスの平成23年9月期連結累計期間(平成23年3月22日～平成23年9月30日)の業績を掲載しております。

《セグメント別の状況》

(a)化粧品事業

	平成24年9月期 (百万円)
売上高	32,223
セグメント利益	5,591

カウンセリング化粧品では、「ノエビア ビューティスタジオ」においてお客さまへのサービス活動を推進しました。また、目もと用美容液などの新商品を投入しました。セルフ化粧品では、主要ブランドの美白シリーズをリニューアル発売し、TVCM放映と共に店頭プロモーションを強化いたしました。さらに、メイクアップ商品もリニューアルいたしました。

以上の結果、化粧品事業の売上高は32,223百万円、セグメント利益は5,591百万円となりました。

(b)医薬・食品事業

	平成24年9月期 (百万円)
売上高	13,595
セグメント利益	1,245

機能性ドリンクでは、積極的な広告宣伝・販売促進活動を行いました。主要ブランドに新商品を発売いたしました。また、栄養補助食品は、引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、医薬・食品事業の売上高は13,595百万円、セグメント利益は1,245百万円となりました。

(c)その他の事業

	平成24年9月期 (百万円)
売上高	1,401
セグメント利益	70

航空関連事業が欧米市場における景気減速による需要停滞と円高による為替換算の影響を受けました。

以上の結果、その他の事業の売上高は1,401百万円、セグメント利益は70百万円となりました。

②次期の見通し

今後も化粧品事業を中心に「日本におけるイノベーションと持続的利益創出」および「アジア市場でのブランド価値向上」を目指してまいります。

以上により平成25年9月期の連結業績は、売上高48,000百万円、営業利益6,000百万円、経常利益6,200百万円、当期純利益3,700百万円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,726百万円減少し、83,701百万円となりました。主に、有形固定資産が1,108百万円、未収入金が937百万円、繰延税金資産（固定）が571百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,820百万円減少し、34,011百万円となりました。主に、長期預り保証金が1,087百万円、退職給付引当金が500百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,905百万円減少し、49,689百万円となりました。主に、平成23年11月17日に自己株式3,880,000株を3,325百万円で取得し、同年11月28日に消却したことと、増加要因としては当期純利益等の計上により利益剰余金が1,427百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は59.3%、1株当たり純資産は1,325円88銭となり、前連結会計年度末に比べてそれぞれ0.3%、77円86銭の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末の36,148百万円に比べ104百万円増加し、36,253百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は4,228百万円となりました。これは、主に、税金等調整前当期純利益5,526百万円と、減少要因としては法人税等の支払額1,451百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は585百万円となりました。これは、主に、定期預金の払戻による収入2,556百万円と、減少要因としては定期預金の預入による支出2,031百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は4,813百万円となりました。これは、自己株式の取得による支出3,325百万円及び配当金の支払額1,488百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年 9月期	平成24年 9月期
自己資本比率(%)	59.0	59.3
時価ベースの自己資本比率(%)	41.6	50.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債(ゼロクーポン債を含む)を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分に関しましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

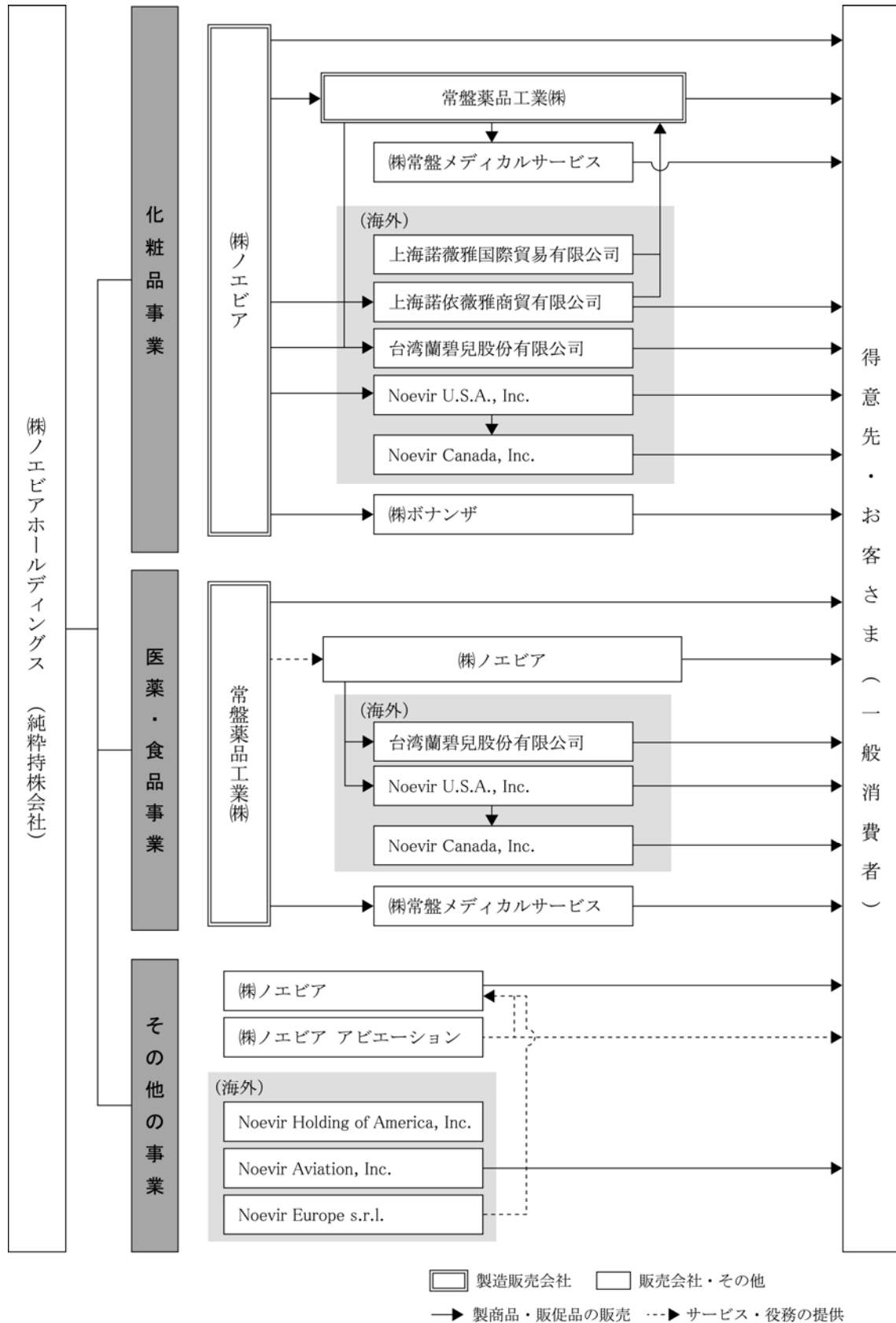
また、今後においても上記基本方針に基づき、株主への安定配当を維持していきたいと考えております。

なお、当期の期末配当金につきましては、普通配当36円に東京証券取引所市場第一部指定承認の記念配当4円を加え、合計1株当たり40円を予定しております。

また、次期の配当金につきましては、1株当たり普通配当年間40円を予定しております。

2. 企業集団の状況

事業の系統図は、次のとおりであります。



※(株)ノエビアツーリストは、当連結会計年度において清算終了しております。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

「日本で利益創出、アジアで市場拡大」をテーマとし、グループの有する研究開発力、生産技術力、マーケティング力、ブランド力等を最大限に活かし、「日本におけるイノベーションと持続的利
益創出」および「アジア市場でのブランド価値向上」を目指してまいります。

また、グループ全体においては「人材、組織の多様化とグローバル化」を急ぎ、「ものづくりの競争力強化」を推進し、引き続き「ローコストオペレーション」を実行してまいります。

(2) 目標とする経営指標

中期経営計画の最終年度である平成27年9月期には売上高営業利益率14%を目標に収益性の向上を実現してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマである「日本で利益創出、アジアで市場拡大」に向けた成長戦略の布石として、以下5つの方針をグループ全体でスピードを持って実行してまいります。

1. 日本におけるイノベーションと持続的利
益創出
2. アジアでのブランド価値向上
3. 人材、組織の多様化とグローバル化
4. ものづくりの競争力強化
5. ローコストオペレーション

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループが事業を展開する化粧品、医薬・食品の国内外の市場、流通、顧客ニーズなどは環境の変化や多様化が急速に進んでおります。これらに即応した的確なサービスの提供やマーケティングを実行し「日本で利益創出、アジアで市場拡大」を実現することが重要な課題と認識しております。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,674,720	38,253,228
受取手形及び売掛金	10,579,759	※2 11,754,160
商品及び製品	6,202,007	5,694,420
仕掛品	300,999	206,578
原材料及び貯蔵品	1,446,797	1,299,798
繰延税金資産	1,524,090	1,097,329
未収入金	2,698,721	1,761,543
その他	405,175	455,123
貸倒引当金	△76,378	△55,945
流動資産合計	61,755,894	60,466,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,666,478	5,005,520
機械装置及び運搬具（純額）	877,414	792,277
土地	13,881,827	13,642,382
リース資産（純額）	24,490	30,118
建設仮勘定	1,384	1,609
その他（純額）	332,757	203,938
有形固定資産合計	※1 20,784,352	※1 19,675,847
無形固定資産		
のれん	1,012	32
ソフトウェア	888,107	328,769
その他	97,511	98,853
無形固定資産合計	986,631	427,654
投資その他の資産		
投資有価証券	426,532	409,322
繰延税金資産	2,368,259	1,796,916
その他	1,252,446	1,021,442
貸倒引当金	△146,841	△96,333
投資その他の資産合計	3,900,397	3,131,347
固定資産合計	25,671,381	23,234,849
資産合計	87,427,276	83,701,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,339,797	4,824,771
リース債務	7,238	10,262
未払金	3,280,105	3,393,112
未払法人税等	781,103	1,294,737
繰延税金負債	—	1,194
賞与引当金	329,611	161,982
返品調整引当金	1,033,114	691,425
その他	2,167,964	1,376,080
流動負債合計	11,938,935	11,753,567
固定負債		
リース債務	18,449	21,358
長期預り保証金	18,446,472	17,358,866
退職給付引当金	5,193,496	4,692,944
その他	234,697	184,689
固定負債合計	23,893,116	22,257,858
負債合計	35,832,051	34,011,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319,000	7,319,000
資本剰余金	6,809,798	3,484,620
利益剰余金	37,944,986	39,372,029
自己株式	△17	△50
株主資本合計	52,073,767	50,175,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,362	39,651
為替換算調整勘定	△520,373	△570,493
その他の包括利益累計額合計	△502,010	△530,841
少数株主持分	23,468	44,902
純資産合計	51,595,224	49,689,660
負債純資産合計	87,427,276	83,701,086

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 3 月22日 至 平成23年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	24,581,835	47,220,289
売上原価	※1 9,377,231	※1 16,372,870
売上総利益	15,204,603	30,847,418
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,058,088	4,030,696
広告宣伝費	513,294	1,425,780
給料手当及び賞与	4,239,596	7,878,143
賞与引当金繰入額	239,935	122,845
退職給付費用	456,872	819,908
減価償却費	590,264	1,143,508
研究開発費	※1 671,954	※1 1,090,749
その他	4,857,948	9,185,785
販売費及び一般管理費合計	13,627,955	25,697,417
営業利益	1,576,648	5,150,001
営業外収益		
受取利息	11,265	11,940
受取配当金	5,644	9,286
為替差益	—	14,532
販促物売却収入	14,234	26,506
受取賃貸料	26,020	56,097
保険配当金	37,442	77,402
その他	38,029	120,318
営業外収益合計	132,635	316,084
営業外費用		
為替差損	17,278	—
コミットメントフィー	4,928	12,032
創立費償却	32,971	—
その他	1,413	2,849
営業外費用合計	56,591	14,882
経常利益	1,652,692	5,451,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	※2 123	※2 160,775
投資有価証券売却益	5,918	2,563
貸倒引当金戻入額	51,374	—
災害損失修正額	13,389	—
事業譲渡益	—	64,000
その他	682	—
特別利益合計	71,488	227,338
特別損失		
固定資産除売却損	※3 161,385	※3 60,660
投資有価証券売却損	1,357	—
減損損失	—	※4 86,187
その他	—	5,000
特別損失合計	162,742	151,847
税金等調整前当期純利益	1,561,437	5,526,695
法人税、住民税及び事業税	764,002	1,782,066
法人税等調整額	180,863	944,316
法人税等合計	944,866	2,726,383
少数株主損益調整前当期純利益	616,571	2,800,312
少数株主利益	1,805	12,618
当期純利益	614,766	2,787,693

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	616,571	2,800,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,093	22,181
為替換算調整勘定	△1,027	25,073
その他の包括利益合計	△14,120	47,255
包括利益	602,451	2,847,568
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	600,375	2,833,369
少数株主に係る包括利益	2,076	14,198

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	—	7,319,000
当期変動額		
株式移転による増減	7,319,000	—
当期変動額合計	7,319,000	—
当期末残高	7,319,000	7,319,000
資本剰余金		
当期首残高	—	6,809,798
当期変動額		
株式移転による増減	6,809,798	—
自己株式の消却	—	△3,325,177
当期変動額合計	6,809,798	△3,325,177
当期末残高	6,809,798	3,484,620
利益剰余金		
当期首残高	—	37,944,986
当期変動額		
株式移転による増減	37,330,220	—
剰余金の配当	—	△1,487,622
当期純利益	614,766	2,787,693
連結子会社の会計期間変更に伴う増減額	—	126,971
当期変動額合計	37,944,986	1,427,043
当期末残高	37,944,986	39,372,029
自己株式		
当期首残高	—	△17
当期変動額		
自己株式の取得	△17	△3,325,210
自己株式の消却	—	3,325,177
当期変動額合計	△17	△32
当期末残高	△17	△50
株主資本合計		
当期首残高	—	52,073,767
当期変動額		
株式移転による増減	51,459,018	—
剰余金の配当	—	△1,487,622
当期純利益	614,766	2,787,693
自己株式の取得	△17	△3,325,210
自己株式の消却	—	—
連結子会社の会計期間変更に伴う増減額	—	126,971
当期変動額合計	52,073,767	△1,898,167
当期末残高	52,073,767	50,175,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	—	18,362
当期変動額		
株式移転による増減	31,455	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13,093	21,289
当期変動額合計	18,362	21,289
当期末残高	18,362	39,651
為替換算調整勘定		
当期首残高	—	△520,373
当期変動額		
株式移転による増減	△519,075	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,298	△50,119
当期変動額合計	△520,373	△50,119
当期末残高	△520,373	△570,493
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△502,010
当期変動額		
株式移転による増減	△487,619	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△14,391	△28,830
当期変動額合計	△502,010	△28,830
当期末残高	△502,010	△530,841
少数株主持分		
当期首残高	—	23,468
当期変動額		
株式移転による増減	21,391	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,076	21,434
当期変動額合計	23,468	21,434
当期末残高	23,468	44,902
純資産合計		
当期首残高	—	51,595,224
当期変動額		
株式移転による増減	50,992,791	—
剰余金の配当	—	△1,487,622
当期純利益	614,766	2,787,693
自己株式の取得	△17	△3,325,210
自己株式の消却	—	—
連結子会社の会計期間変更に伴う増減額	—	126,971
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△12,315	△7,396
当期変動額合計	51,595,224	△1,905,564
当期末残高	51,595,224	49,689,660

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,561,437	5,526,695
減価償却費	910,990	1,702,321
減損損失	—	86,187
のれん償却額	1,771	777
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△72,666	△25,784
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,540	△23,612
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△143,809	△351,488
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,844	△446,200
受取利息及び受取配当金	△16,909	△21,226
為替差損益 (△は益)	9,809	△15,284
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,560	△2,563
固定資産除売却損益 (△は益)	161,261	△100,114
災害損失修正額	△13,389	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,610,233	△565,961
たな卸資産の増減額 (△は増加)	409,808	539,274
仕入債務の増減額 (△は減少)	△111,010	430,169
預り保証金の増減額 (△は減少)	△418,700	△1,055,687
その他	△576,367	△21,261
小計	3,286,202	5,656,239
利息及び配当金の受取額	21,238	23,467
法人税等の支払額	△480,498	△1,451,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,826,942	4,228,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,501,250	△2,031,921
定期預金の払戻による収入	2,500,000	2,556,561
投資有価証券の取得による支出	△1,261	△1,800
投資有価証券の売却による収入	20,368	52,248
有形固定資産の取得による支出	△266,100	△301,208
有形固定資産の売却による収入	72,457	326,727
無形固定資産の取得による支出	△27,144	△15,098
長期貸付金の回収による収入	3,578	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,352	585,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△17	△3,325,210
配当金の支払額	△2,756	△1,488,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,774	△4,813,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,802	27,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,619,012	27,420
現金及び現金同等物の期首残高	33,529,877	36,148,890
連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	76,916
現金及び現金同等物の期末残高	36,148,890	36,253,228

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数……………13社

国内連結子会社…………… 5 社

(株)ノエビア

(株)ボナンザ

(株)ノエビア アビエーション

常盤薬品工業(株)

(株)常盤メディカルサービス

※(株)ノエビアツーリストは、当連結会計年度において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

在外連結子会社…………… 8 社

ノエビア ホールディング オブ アメリカ インク

ノエビア ユーエスエー インク

ノエビア カナダ インク

ノエビア アビエーション インク

ノエビア ヨーロッパ エスアールエル

台湾蘭碧兒股份有限公司

上海諾薇雅国際貿易有限公司

上海諾依薇雅商貿有限公司

2 連結子会社の事業年度等に関する事項

従来、決算日が9月20日であった国内連結子会社3社（(株)ノエビア、(株)ボナンザ及び(株)ノエビアアビエーション）及び決算日が6月30日であった国内連結子会社2社（常盤薬品工業(株)及び(株)常盤メディカルサービス）につきましては、当事業年度より決算日を9月30日に変更しております。

また、従来、連結決算において6月30日現在の財務諸表を使用しておりました在外連結子会社につきましては、直接の親会社である(株)ノエビアの決算日を9月30日に変更したことに伴い、当事業年度より9月30日の財務諸表を使用する方法に変更しております。

この結果、当連結会計年度は、上記の各連結子会社の平成23年10月1日から平成24年9月30日までの12ヶ月間を連結しております。

なお、決算日変更に伴う上記の各連結子会社の平成23年9月21日から9月30日までの10日間または平成23年7月1日から9月30日までの3ヶ月間の損益は利益剰余金に直接加減し、連結株主資本等変動計算書では当該期間の増減を「連結子会社の会計期間変更に伴う増減額」として、連結キャッシュ・フロー計算書では当該期間の現金及び現金同等物の増減を「連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額」としてそれぞれ表示しております。

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当連結会計年度の「貸倒引当金戻入額」は、「販売費及び一般管理費」に計上しておりますが、前連結会計年度については遡及処理を行っておりません。

(法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.9%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.5%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は326,755千円減少し、法人税等調整額は329,969千円増加しております。

なお、上記以外は、最近の有価証券報告書（平成23年12月9日提出）における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(開示の省略)

リース取引、税効果会計、金融商品、有価証券、退職給付、デリバティブ取引等に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
25,272,679千円	24,679,006千円

※2 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、期末残高に含めた期末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
受取手形	—	226,098千円

(連結損益計算書関係)

※1 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
675,604千円	1,095,512千円

※2 固定資産売却益は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
建物及び構築物	－千円	564千円
機械装置及び運搬具	48千円	117,240千円
土地	－千円	40,974千円
その他	74千円	1,995千円
合計	123千円	160,775千円

※3 固定資産除売却損は、次のとおりであります。

固定資産除却損

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
建物及び構築物	63,267千円	43,393千円
機械装置及び運搬具	3,151千円	3,537千円
その他	18,642千円	12,584千円
合計	85,060千円	59,515千円

固定資産売却損

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
建物及び構築物	15,562千円	30千円
機械装置及び運搬具	－千円	555千円
土地	60,360千円	528千円
その他	401千円	30千円
合計	76,324千円	1,144千円

※4 減損損失

当連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類
大阪府柏原市	製造設備	土地 建物及び構築物 その他
東京都港区	販売設備	建物及び構築物 その他

当社グループは、営業拠点を概ね独立したキャッシュフローを生み出す最小の単位とし、遊休資産においては個別物件単位で、また、本社、工場、研究所及び研修設備については共用資産として資産のグルーピングを行っております。

その結果、処分するにあたり売却予定価額が帳簿価額を下回った製造設備について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額40,285千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、事務所の賃借契約解除に伴い販売設備の内部造作等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額45,901千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、資産の回収可能価額は正味売却可能価額により算定しております。

(連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

その他有価証券評価差額金	
当期発生額	35,241千円
組替調整額	△2,563千円
税効果調整前	32,677千円
税効果額	△10,495千円
その他有価証券評価差額金	22,181千円
為替換算調整勘定	
当期発生額	25,073千円
その他の包括利益合計	47,255千円

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	—	41,322,860	—	41,322,860

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

株式移転による増加 41,322,860株

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	—	20	—	20

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 20株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,487,622	36	平成23年9月30日	平成23年12月12日

当連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	41,322,860	—	3,880,020	37,442,840

(変動事由の概要)

減少数の主な内訳は、次のとおりであります。

平成23年11月16日の取締役会決議に基づく自己株式の消却による減少 3,880,020株

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	20	3,880,058	3,880,020	58

(変動事由の概要)

増加数と減少数の主な内訳は、次のとおりであります。

平成23年11月16日の取締役会決議に基づく自己株式の取得による増加 3,880,000株

平成23年11月16日の取締役会決議に基づく自己株式の消却による減少 3,880,020株

単元未満株式の買取りによる増加 58株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	1,487,622	36	平成23年9月30日	平成23年12月12日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年11月16日 取締役会(予定)	普通株式	利益剰余金	1,497,711	40	平成24年9月30日	平成24年12月13日

(注) 1株当たり配当額40円には、東京証券取引所市場第一部指定記念配当4円を含んでおります。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	38,674,720千円	38,253,228千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△2,525,830千円	△2,000,000千円
現金及び現金同等物	36,148,890千円	36,253,228千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業と航空関連事業等のその他の事業を営んでおります。

当社グループは、複数の製品の製造販売を行っており、取り扱い製品により包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い製品を基礎とした製品別のセグメントである「化粧品事業」「医薬・食品事業」から構成されております。

「化粧品事業」は、化粧品の製造販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品・食品・栄養補助食品の製造販売を行っております。

「その他の事業」は、航空関連事業等を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

事業セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の取引価格及び振替価格は市場実勢を勘案して当社が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定しております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日）

(単位：千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	16,167,417	6,821,685	1,592,732	24,581,835	—	24,581,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	79,872	79,872	△79,872	—
計	16,167,417	6,821,685	1,672,605	24,661,708	△79,872	24,581,835
セグメント利益	2,273,419	94,671	75,276	2,443,367	△866,718	1,576,648
セグメント資産	57,788,081	20,045,283	1,958,909	79,792,275	7,635,001	87,427,276
その他の項目						
減価償却費	623,278	279,225	8,053	910,558	431	910,990
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	63,173	122,616	651	186,441	—	186,441

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△866,718千円には、セグメント間取引消去78,719千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△945,438千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産及びセグメント間消去に係る減価償却費であります。

- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	32,223,403	13,595,361	1,401,524	47,220,289	—	47,220,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	155,543	155,543	△155,543	—
計	32,223,403	13,595,361	1,557,068	47,375,832	△155,543	47,220,289
セグメント利益	5,591,217	1,245,934	70,779	6,907,930	△1,757,928	5,150,001
セグメント資産	57,886,034	19,792,286	1,829,055	79,507,375	4,193,710	83,701,086
その他の項目						
減価償却費	1,200,786	489,111	23,630	1,713,528	△11,206	1,702,321
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	111,368	144,780	685	256,835	△22,600	234,235

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,757,928千円には、セグメント間取引消去199,991千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,957,919千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券等）及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産及びセグメント間消去に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度（自 平成23年3月22日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
減損損失	73,114	13,072	—	—	86,187

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成23年 3 月22日 至 平成23年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
1 株当たり純資産額	1,248.02円	1,325.88円
1 株当たり当期純利益金額	14.88円	73.37円

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

2 算定上の基礎

(1) 1 株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成23年 9 月30日)	当連結会計年度 (平成24年 9 月30日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	51,595,224	49,689,660
普通株式に係る純資産額 (千円)	51,571,756	49,644,758
差額の主な内訳 (千円) 少数株主持分	23,468	44,902
普通株式の発行済株式数 (株)	41,322,860	37,442,840
普通株式の自己株式数 (株)	20	58
1 株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	41,322,840	37,442,782

(2) 1 株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 平成23年 3 月22日 至 平成23年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
当期純利益 (千円)	614,766	2,787,693
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	614,766	2,787,693
普通株式の期中平均株式数 (株)	41,322,848	37,994,056

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

該当事項はありません。